

## 第1回

日時：平成28年2月11日（木）10時00分～11時50分

会場：市民病院がん検診センター4階講堂

来場者数：56人

【主なご意見、ご要望等】（○：ご意見・ご質問 ■：横浜市の回答）

### 《新病院の医療機能・事業内容について》

- 新病院周辺は公共用地が多く、民間薬局が開設できない状況にあるので、病院施設内に民間薬局を設置できないか。
- 病院で薬の処方まですべてが済むように、施設内に薬局を設置してほしい。
- 薬局を病院に併設することについては、規制緩和されているが、制約がある。また、国の医薬分業の方針に基づき、かかりつけ薬局をもっていただくことが必要だと考えている。病院としては、患者さんへの影響が少なくなるよう、院内にかかりつけ薬局の紹介コーナーを設置することやFAX送付サービスの提供などを検討していきたい。
  
- 現在の施設を再利用して整備することも考えられないか。
- 多床室を4床室にすることや個室の整備が必要になるなど、医療環境の変化等に対応するためには増築が必要であるが、現在の敷地で増築すると、容積率の制限を超えることとなる。  
また、前回の再整備の際に診療機能を継続しながら工事を行ったが、診療に影響が生じたり工事期間が長期化した。そのため、現在の敷地での再整備は難しいと考えている。
  
- 事業費には野球場整備や道路改修の費用は含まれているか。また事業費はいつ時点での見込みか。再整備をオリンピックの後にするなどできないのか。
- 事業費には、道路拡幅、野球場の整備にかかる費用も含まれている。  
事業費の積算は1年ほど前に行ったもので今後精査する必要があるが、抑える努力をしていく。  
この時期に再整備するのは、今後団塊の世代が後期高齢者となり、患者数が増えてからの建て替えでは遅いという判断である。  
なお、建設費は基本的に病院の診療収入で賄うこととしており、すべてが税金ではないことをご理解いただきたい。
  
- なぜ公園のこの場所を計画地としたのか。公園のほかの部分にすることは検討しているのか。
- 再整備計画地については、4方面5か所の候補地の中から、現病院に近く、診療圏や医療機関への影響が少ないなどの理由から三ツ沢公園を選定した。公園内では、古河電工社宅の敷地を活用することにより、公園面積を減らさずに病院面積を確保できるこの場所を選んだ。また、病院と公園が一体となった災害対策機能の向上を図ることができることも理由の一つとしてあげられる。  
公園区域内のどこにするかは検討したが、現在の野球場の不整形が改善されるなど、公園の機能向上を図ることが可能となるため、この場所を計画地とした。

- 病院へのアクセスが大幅に変わると思われるが、どのように考えているか。
- 羽沢新駅の開通も予定されているので、多方面からの利用動線を考慮して欲しい。
- 市営バス 87 系統については、病院ロータリーにバス停を設置する予定だが、運行ルートに変更はないようにしたい。新横浜通りを通るバスルートは多くあり、今後交通事業者とも相談していきたい。
  
- 三ツ沢公園前交差点側からだど一般車両、救急車ともに右折で入場することになるが、スムーズに入場できるのか。救急車は交差点側から来る台数が多いはず。
- 救急車については、三ツ沢公園前交差点側から来る車両が6割近くになると想定している。横浜駅からのタクシーの比率が多いことも考慮して、交差点から近い、見通しのよい直線部で右折するように配置している。右折進入については、病院入り口前は停車禁止となるので、スムーズに進入できると考えている。
  
- タクシー待機場所は何台分くらいあるか。また、違法駐車対策はするのか。
- 10 台程度設置する予定。現在は、公園の脇にタクシーが 20 台程度駐車している状況が見られるが、今後は待機場所に空きがなければ止めないということで関係者と調整する。
  
- 病床数に変更はないのか。
- 病床数に変更はないが、急性期から慢性期まで全てを診るのではなく、地域医療機関との機能分担を推進し、市民病院は高度急性期医療を中心に担っていく。  
慢性疾患や回復期医療に関しては病床を増やすことが必要であると言われていたが、高度急性期医療は医療の高度化により入院期間を短縮でき、同じ病床数でより多くの患者を受け入れることができる。

#### 《新病院周辺の整備について》

- 管理棟を建てる場所は、区のハザードマップで警戒区域になっている場所なので、建設の際には確実に対策してほしい。
- 現在地質を調査しているところで、安定が保たれるかどうか今後検証していく。擁壁は、現状の形態を保全したいと考えている。土砂崩れは土砂に水を含むことで発生するので、対策をとっていく。工事の際は、十分に配慮していきたい。  
なお、工事計画については、施工業者が決まってから説明する機会を設けたい。
  
- 病院ができれば、サッカー観戦者による病院駐車場の利用が考えられる。三ツ沢公園前交差点の交通量調査を行っているようだが、交通量の推定が足りていないのではないかと。
- 市道から三ツ沢公園前交差点に抜ける交通量は、大きく見積もって1時間あたり 371 台となっている。現在、交差点の前に横断歩道が設置されている影響もあり、1回の信号で出られる台数が少ない状況なので、横断歩道の問題を解消していく。なお、このことによりサッカー試合後の渋滞についても同時に改善されると考えている。  
また、現病院前で渋滞がある状況については、駐車場が 110 台と少なく、道路で駐車場待ちをしているためだが、新病院では駐車場の台数を確保するとともに、できるだけ敷地の奥に駐車場のゲ

ートを作るなどして路上待ち対策を行う。なお、正面玄関まわりについては1時間に150台くらいの車が入り出しているが、道路での待ちは発生していない状況である。

- 歩道、横断歩道、信号の変更について教えてほしい。
- 歩道は道路の両側に2m以上確保し、病院敷地の一部も歩道にする計画としている。三ツ沢公園前交差点付近の横断歩道は、歩行者にとって危険性が高いことから一部廃止する計画としている。信号の位置は現在のまま変更はない。
  
- 道路の見通しは良くなるか。
- 道路を三ツ沢公園前交差点前のカーブ付近から徐々に広くする計画。また、現在の歩道は車道よりも高い位置にあるが車道と同じ高さに歩道ができるように形状を変更し、植栽を低くすることで見通しを良くする。
  
- 平沼体育館前から三ツ沢公園に渡る横断歩道を廃止されると公園に行くのに遠回りになるが、代わりの横断歩道はできるか。
- 県警にも持ちかけている。引き続き協議していきたい。
  
- 横断歩道がないと道路を渡る人がいると思うが、ガードレール等は設置するのか。
- 病院の出入口付近以外には基本的にガードレールを設置する。
  
- 三ツ沢公園の中を歩いて病院に行く人もいると思うので、公園内の交通整備をお願いしたい。
- ご意見として承る。
  
- 新病院から三ツ沢総合グランド入口バス停まで、歩道橋ではなく地下道を作り、病院とバス停を直結させて欲しい。
- ご意見として承る。

#### 《野球場の整備について》

- 病院跡地に野球場以外の施設を整備することはないか。
- 運動公園として野球場を整備する計画としている。
  
- 野球場を建てるならば、周辺に対する配慮をお願いしたい。
- 詳細については今後の検討となるが、極力近隣に影響が生じない方法を検討していきたい。

## 第2回

日時：平成28年2月12日（金）19時00分～20時40分

会場：軽井沢中学校体育館

来場者数：29人

【主なご意見、ご要望等】（○：ご意見・ご質問 ■：横浜市の回答）

### 《新病院の医療機能・事業内容について》

- 病室の窓をマンション側に向けるのはなぜか。
- 病室の採光を取る必要がある。
  
- 新病院では感染症に対応するようだが、排水、排気対策について具体的に説明してほしい。
- 排水は滅菌処理をしてから下水に流すことになる。排気は、特殊なフィルター（HEPAフィルター）を通すことで微細な粒子まで抑えることができ、危険性のある空気は蔓延しないと考えている。

### 《新病院周辺の整備について》

- Jリーグ開催時は車の台数が増えるが、その点は考慮されているのか。
- 現在は、三ツ沢公園前交差点付近に横断歩道が3か所あるため、1回の信号で出られる台数が少ない状況である。新病院の整備に合わせて横断歩道を廃止し、車がスムーズに出られるような計画としている。  
また、三ツ沢公園駐車場は合計で300台程度駐車できるが、最大数を見込んでも約370台が1時間で出られる計画としている。渋滞を心配する意見はいただいているので、Jリーグ開催時に交通量を調査し、渋滞の解消について検証していきたい。
  
- 市道から三ツ沢公園前交差点に抜ける信号の間隔が短く、1回の信号で5、6台しか出られていないと思うが、ロータリーや地下駐車場に入る車の右折待ちで道路が渋滞してしまわないか。
- 三ツ沢公園前交差点から病院入口まで約100mあることや、バスが通過できるようにカーブの形状を改善するため、渋滞にはならないと考えている。また、一般車入口も、入場の際に渋滞が発生しないよう駐車場のゲートを敷地内の奥に作り、敷地内で待てるように対策する。
  
- 三ツ沢ハイタウン方面から、生活道路を使用する車がいるのではないか。道路は通学路となっており、危険である。
- 病院に来る車は午前中に多くなることが見込まれるが、この時間帯の新横浜通りは比較的空いている状態なので、生活道路へ迂回する状況は多くないと考えている。
  
- 救急車の搬送件数は1日あたり平均14台と聞いている。渋滞時に救急搬送が重なると影響が出るのではないか。
- 周辺道路を改良することで、交通量の増加に対応していく。また、列が重なっても、病院の出入口は停車禁止とするので救急車の出入りに支障はないと考えている。

- 既存の「三ツ沢総合グラウンド入口」バス停はなくならないものと理解してよいか。廃止されるとなると、周辺住民や平沼記念体育館、スポーツ会館などの利用者は遠回りすることになり、利便性が損なわれる。
- 既存のバス停を残すことができるかどうか、関係機関と検討していきたい。
  
- なぜ改築して間もないのに移転するのか。
- 新病院予定地の近くには薬局がなく、サッカー場が近くにあり、再整備用地として望ましくないと思う。三ツ沢公園の桜山の部分に移転すれば現状から大きな変化もなく、周辺の負担も少なく、三ツ沢公園の駐車場も活用できるのではないか。
- 現在の敷地では機能拡充が難しいため、移転を考えた。面積的には 30,000 m<sup>2</sup>程度必要で、公園の面積を減らさず、公園の機能向上を図ることを踏まえて検討した結果、民有地を含めた現計画地であれば十分な面積が確保でき適地であると考えた。
  
- 横断歩道を廃止すると迂回することになるが、歩道橋などを作ることは検討していないか。
- 代替の横断歩道については、県警とも相談していきたい。歩道橋等を含めたなんらかの方法を検討していきたい。

#### 《都市計画に関することについて》

- 環境創造局はなぜこの区域を病院用地にすることに合意したのか。
- 三ツ沢公園だけでなく候補地を探してきた経過があるなかで、移動距離が短いほうが良いという前提があった。また、病院と公園を一体的に活用できることや、現状課題のある野球場を一体的に整備できるという点で、現状より、病院・公園の機能を向上できると考えて合意した。